

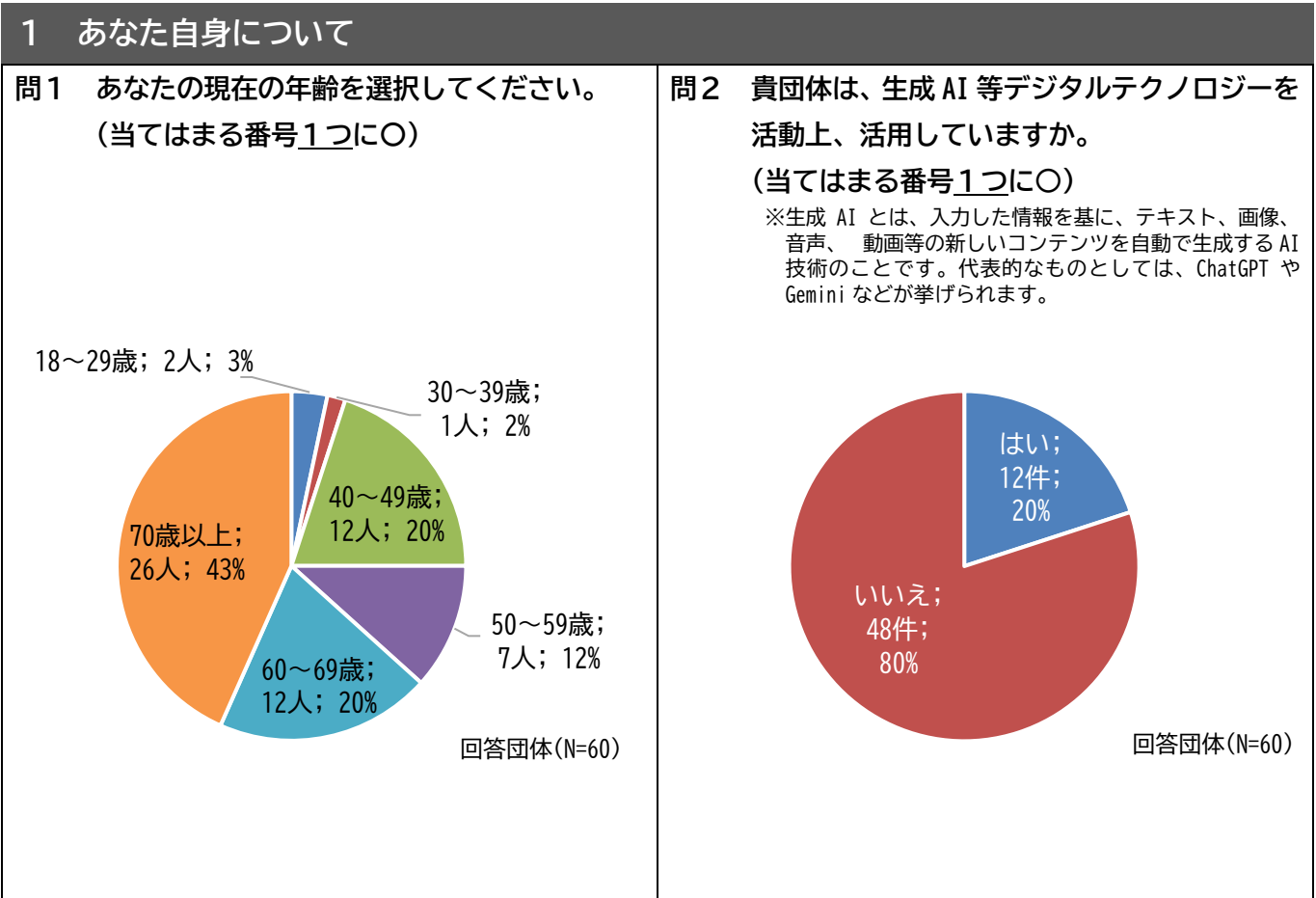
高松市男女共同参画に関する市民団体等実態調査 調査結果報告書

1. 調査概要

項 目	内 容
調 査 目 的	・ 男女共同参画に関する市民団体等の実態等を把握し、次期プラン策定の基礎データとすること。 ・ 今後の男女共同参画施策推進の参考資料とすること。
調 査 期 間	令和7年10月1日～令和7年10月31日
調 査 方 法	郵送配布・郵送又はWebにて回収
調 査 対 象	市内市民団体等 100 団体
有 効 回 収 数	60 件（郵送回収 23 件・Web 回収 37 件）（回収率 60%）

2. 調査結果

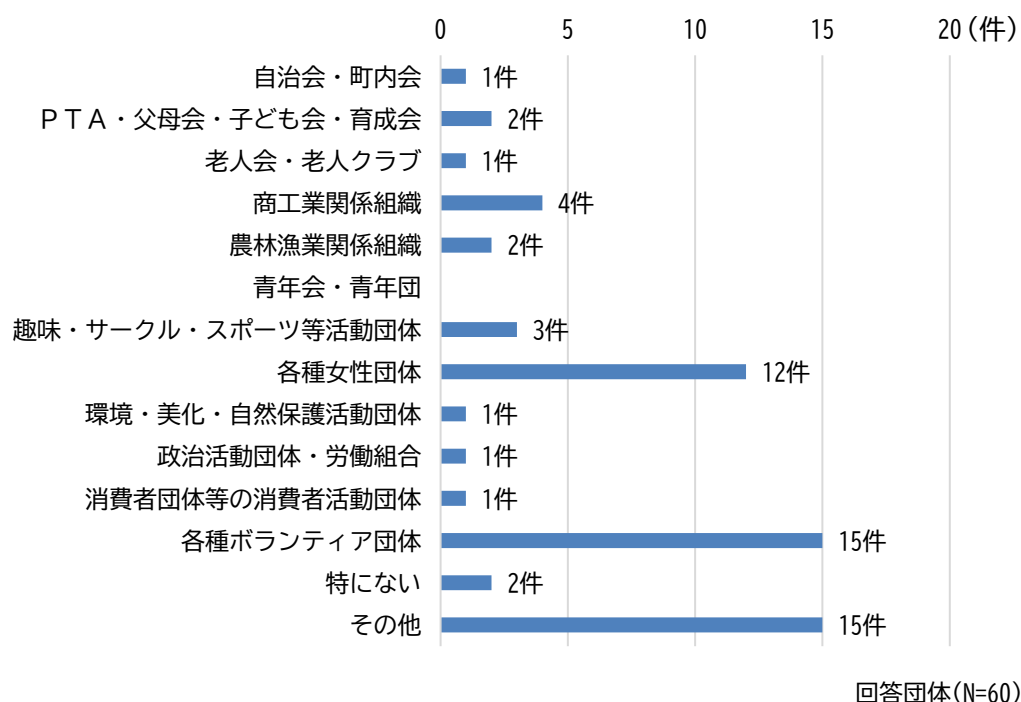
- ※ 本アンケート調査結果は、R1 年度に実施した調査結果と比較を実施している。R1 年度調査では「分からない」「無回答」といった選択肢を設けていたが、本アンケートでは設けていない。そのため、各調査間で結果を比較可能とするために、R1 年度データから当該選択肢を除外した上で割合を再算出し、その結果を用いてグラフを作成した。
- ※ 本アンケートは、女性会員数が多いと想定される団体を主に抽出して配布を行った。R1 年度調査とは抽出意図が異なるが、参考のため比較を行った。
- ※ その他等の自由記述については、回答者の意図を損なわない範囲で、誤字脱字、表記揺れ、明らかな変換ミス等を修正した。また、個人情報、誹謗中傷、公表に適さない表現等を含む記述については、一部削除又は掲載を省略した。内容が同一又は類似する回答については、必要に応じて整理・分類した。



2 貴団体について

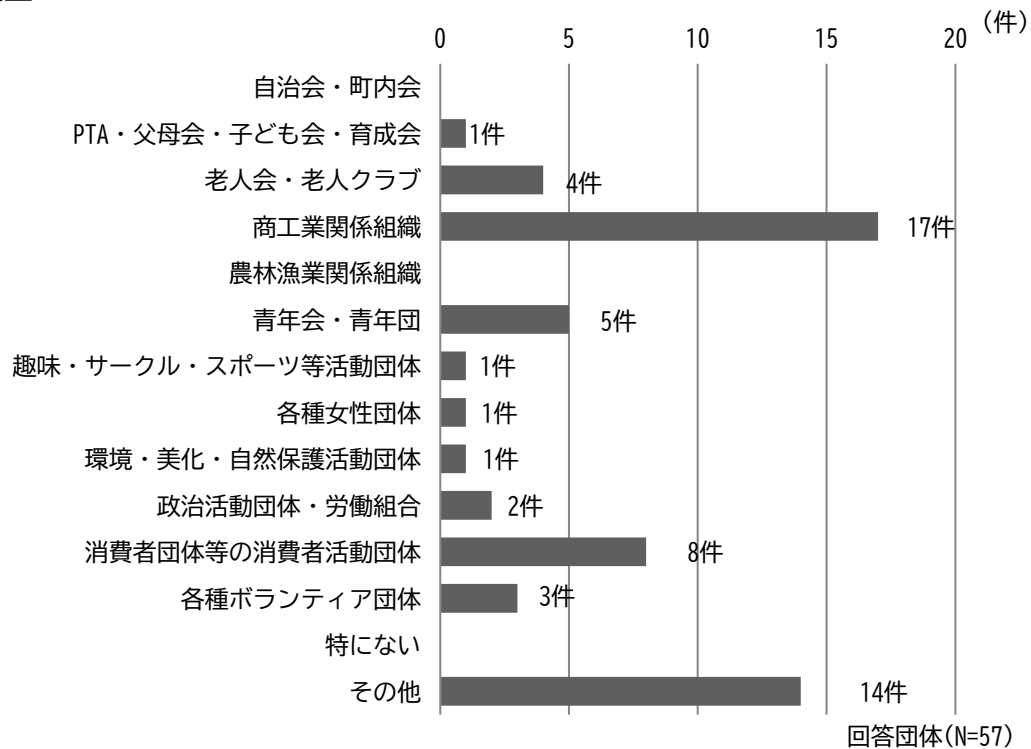
問3 貴団体は、次のどれに当てはまりますか。(当てはまる番号1つに○)

- ・ 団体への所属状況については、「各種ボランティア団体」が最も多く 15 件であった。次いで「各種女性団体」(12 件)が多かった。
- ・ 「その他」の内訳は「職能団体」(4 件)、「中間支援団体」(2 件)のほか、身体障害者協会・消防団・学習・教育など・特定非営利活動法人等が各 1 件であった。
- ・ R1 高松市調査では、「商工業関係組織」の回答が最も多く (17 件)、次いで「その他」(14 件)、「消費者団体等の消費者活動団体」(8 件)が多かった。



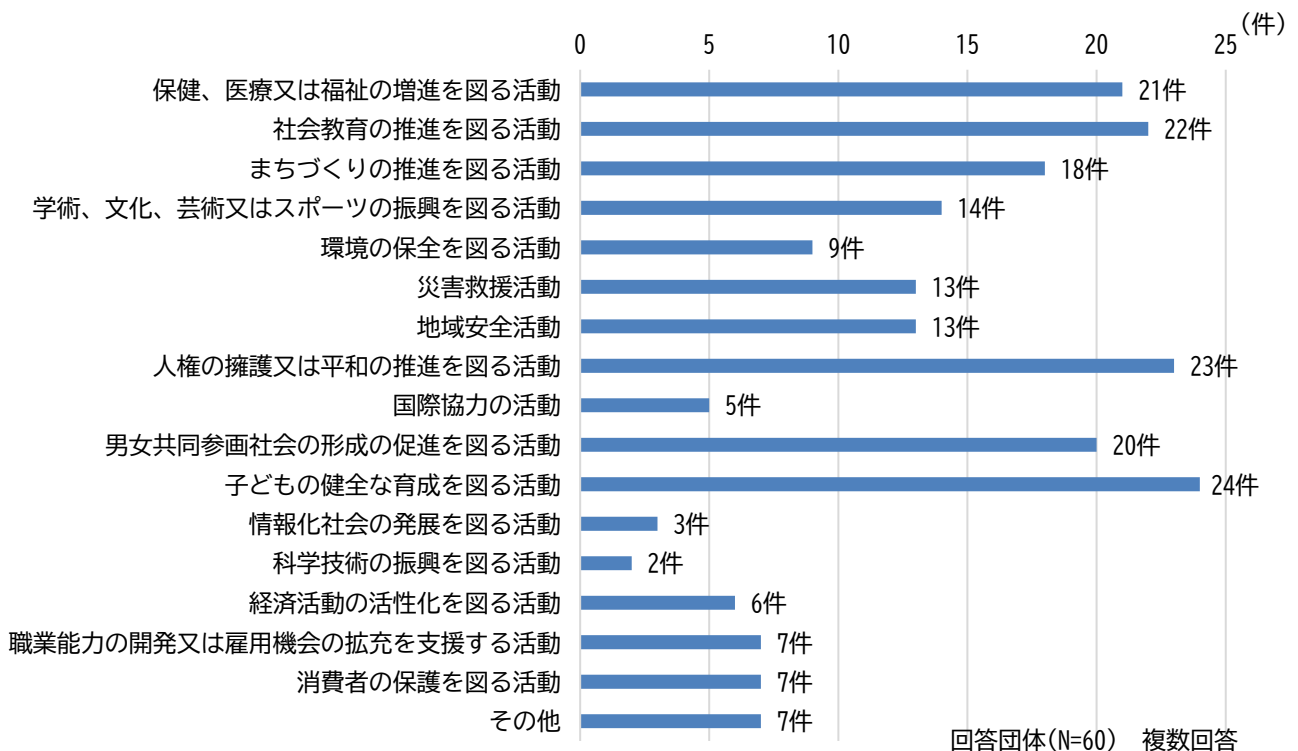
■その他の回答	(件)
職能団体	4
中間支援団体	2
身体障害者協会	1
消防団	1
学習・教育など	1
特定非営利活動法人	1
LGBTQ など性的少数者のための団体	1
健康福祉に関わる市民活動	1
任意団体	1
公益財団法人	1

■R1 高松市調査



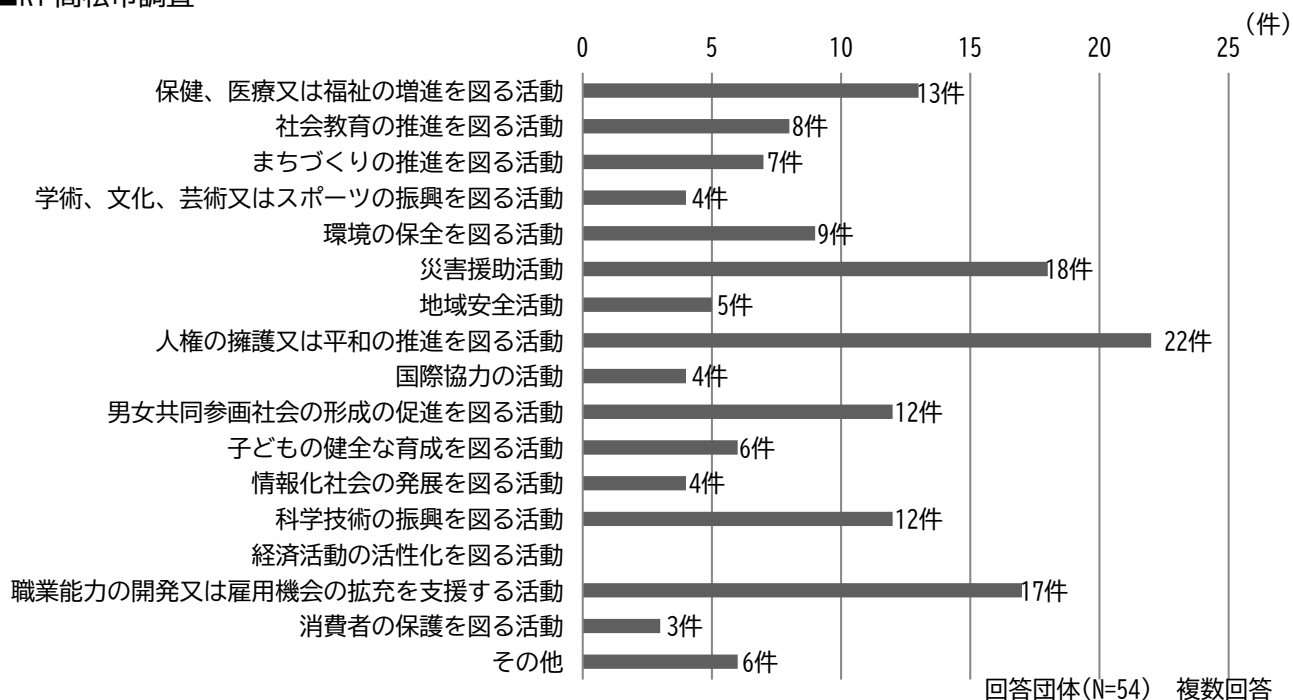
問4 貴団体の主な活動目的を選んでください。(当てはまる番号すべてに○)

- ・ 「子どもの健全な育成を図る活動」が最も多く24件であった。次いで「人権の擁護又は平和の推進を図る活動」(23件)、「社会教育の推進を図る活動」(22件)、「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」(21件)となっていた。
- ・ R1 高松市調査では、「人権の擁護又は平和の推進を図る活動」が最も多く(22件)、次いで「災害救援活動」(18件)、「職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動」(17件)が上位回答であった。



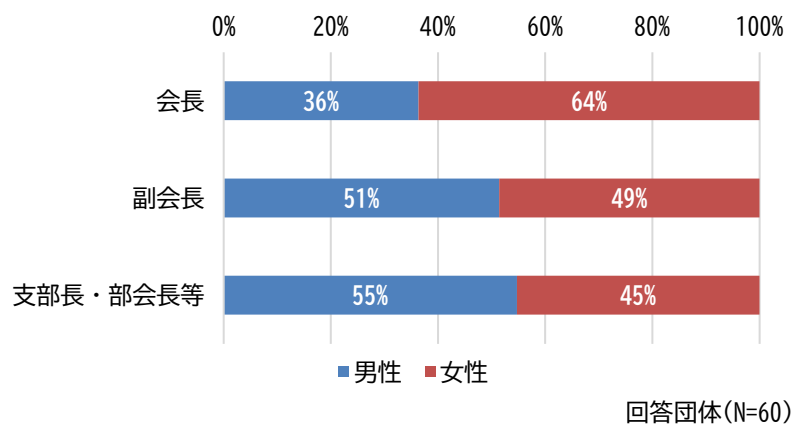
■その他の回答 (件)	
転入者の交流、情報交換	2
自主的な防火活動	1
障がい者の交流	1
紙芝居表現 etc を中心に	1
労働者の学習・教育など	1
自殺予防	1

■R1 高松市調査

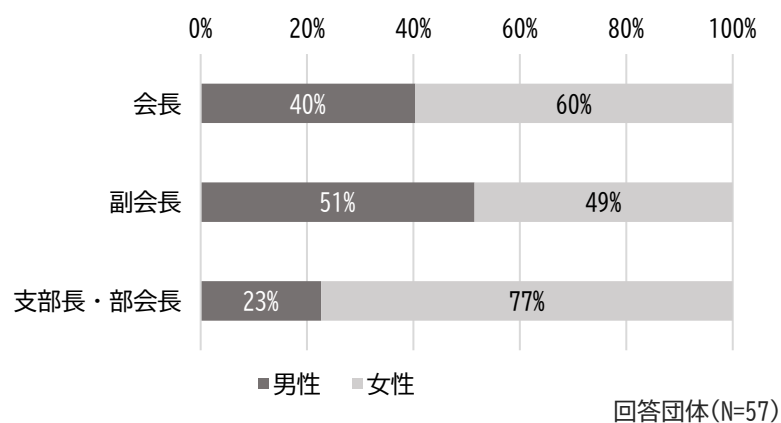


問5 貴団体の会員数などをお聞きます。

- ・ 各団体の役職における男女比をみると、「会長」は女性が6割、「副会長」や「支部長・部会長等」は、男性が5割を超えていた。
- ・ R1 高松市調査と比較すると、「会長」「副会長」の男女比率の傾向に変わりはないが、「支部長・部会長」は、男性の比率が前回より増えていた。

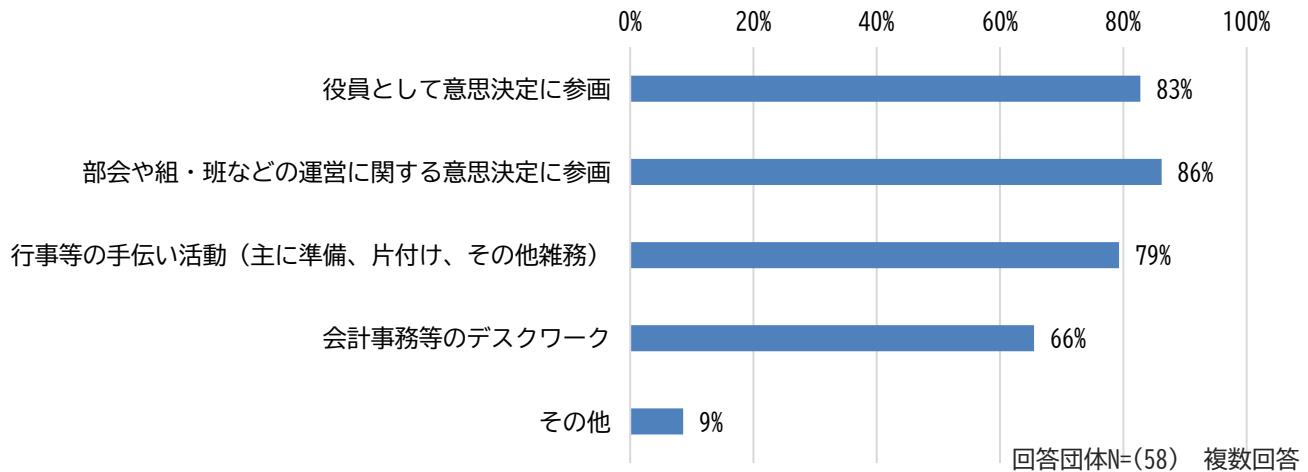


■R1 高松市調査



問6 女性が担っているのはどのような役割、活動ですか。(当てはまる番号すべてに○)

- 最も回答が多かったのは、「部会や組・班などの運営に関する意思決定に参画」で86%であった。次いで、「役員として意思決定に参画」が83%、「行事等の手伝い活動(主に準備、片付け、その他雑務)」が79%であった。「会計事務等のデスクワーク」といった実務的な活動も6割を超えていた。



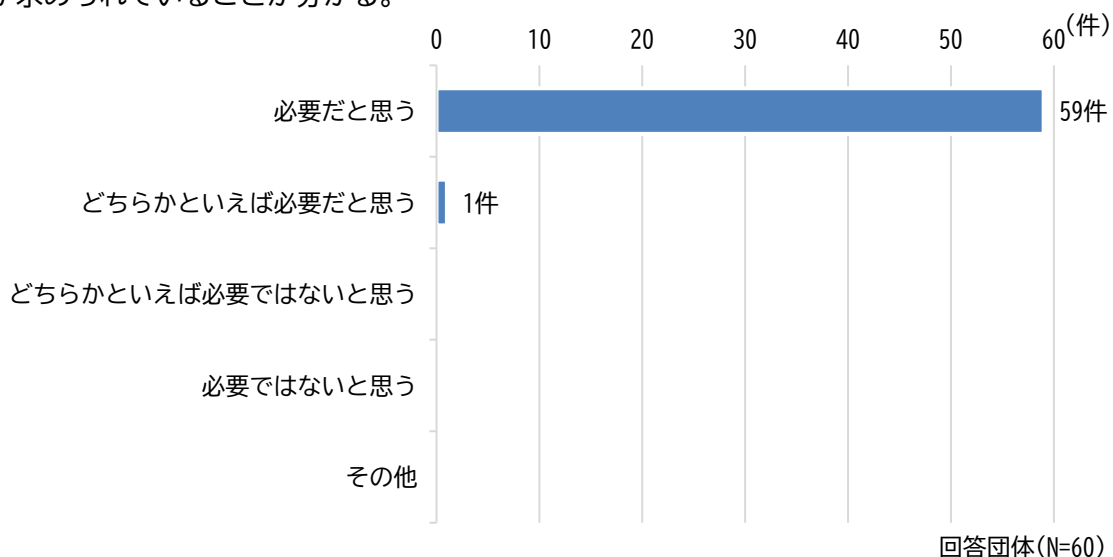
■その他の回答

	(件)
高松市の交通安全の推進	1
広報活動、救命講習指導	1
グループとして主に表現活動	1
行政との共同事業等	1
法人運営全般	1

問7 地域活動の意思決定の立場へ積極的に女性が参加することについて、どう思いますか。

(当てはまる番号1つに○)

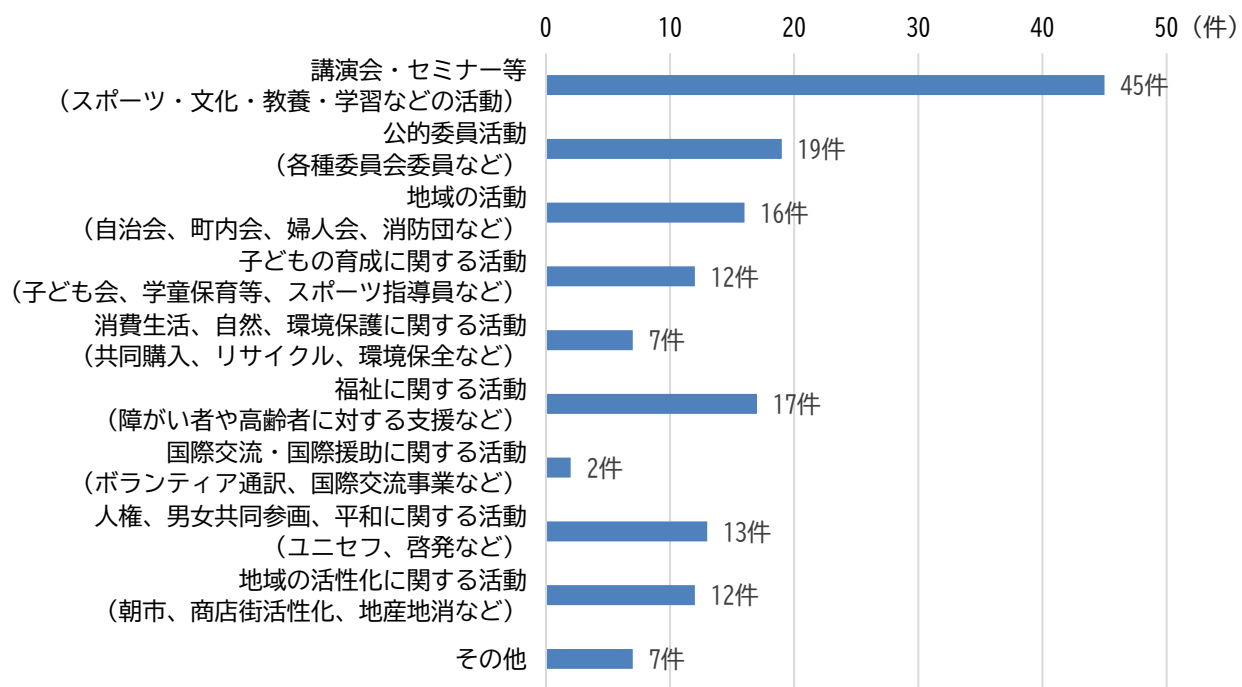
- 「必要だと思う」という回答のみで59件、「どちらかといえば必要だと思う」を合わせた割合は100%となり、否定的な回答は見られなかった。地域活動の意思決定の立場に積極的に女性が参加することが求められていることが分かる。



3 活動内容について

問8 貴団体は過去5年間で、どのような活動をしましたか。(〇は3つまで)

- 最も回答が多いのは、「講演会・セミナー等（スポーツ・文化・教養・学習などの活動）」が45件であった。次いで、「公的委員活動（各種委員会委員など）」、「福祉に関する活動（障がい者や高齢者に対する支援など）」、「地域の活動（自治会、町内会、婦人会、消防団など）」となっていた。
- R1 高松市調査でも、「講演会・セミナー等（スポーツ・文化・教養・学習などの活動）」の回答者が最も多かった。



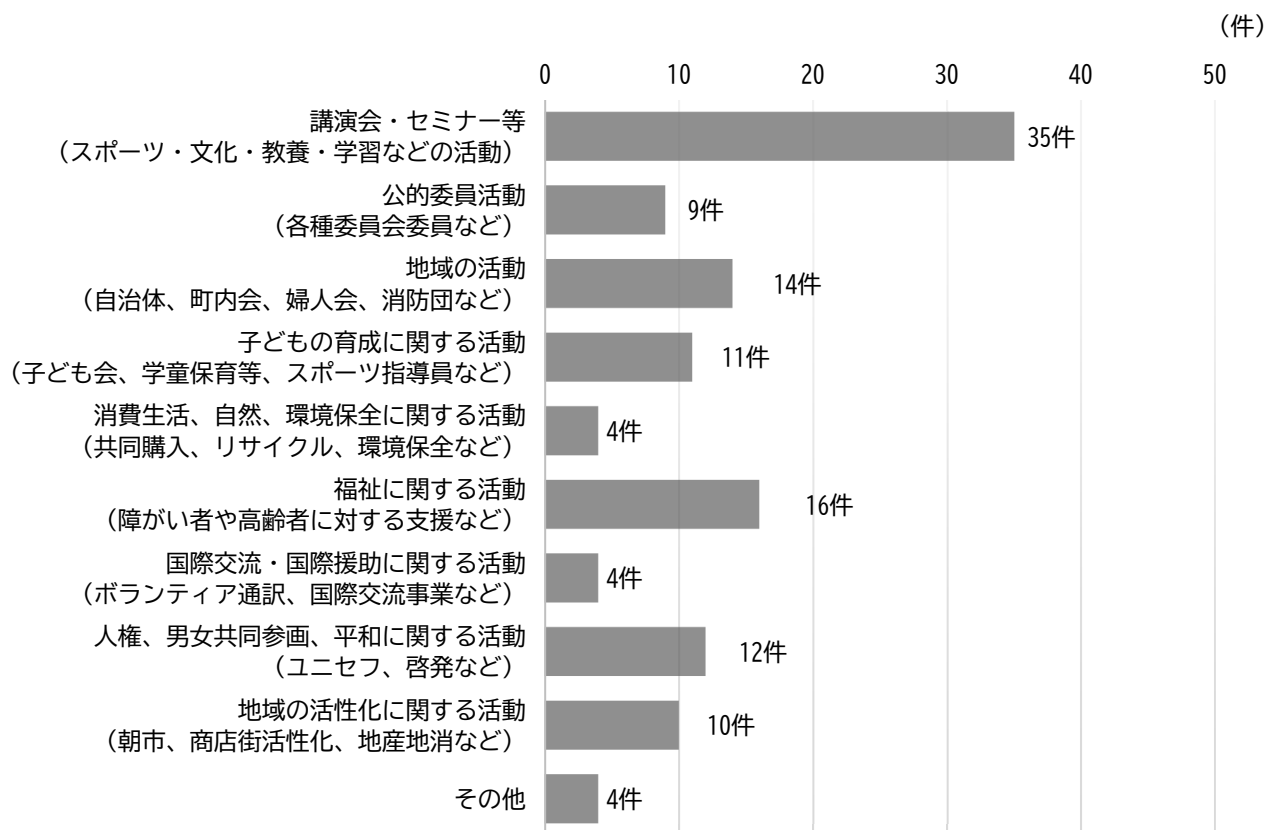
回答団体(N=60) 複数回答

■その他の回答

(件)

交通事故防止運動、街頭キャンペーン、高齢者世帯訪問事業	1
団体としてでなく、個人で市の委員ボランティアなど	1
定期日には市立県立図書館やイベント等で紙芝居落語朗読等表現活動	1
コロナ禍以降、活動中止中	1
学習・教育	1
交流活動	1
四国並びに近隣の多くの山に登山し、見聞を広め、友情を育み、人間的に成長する。	1

■R1 高松市調査

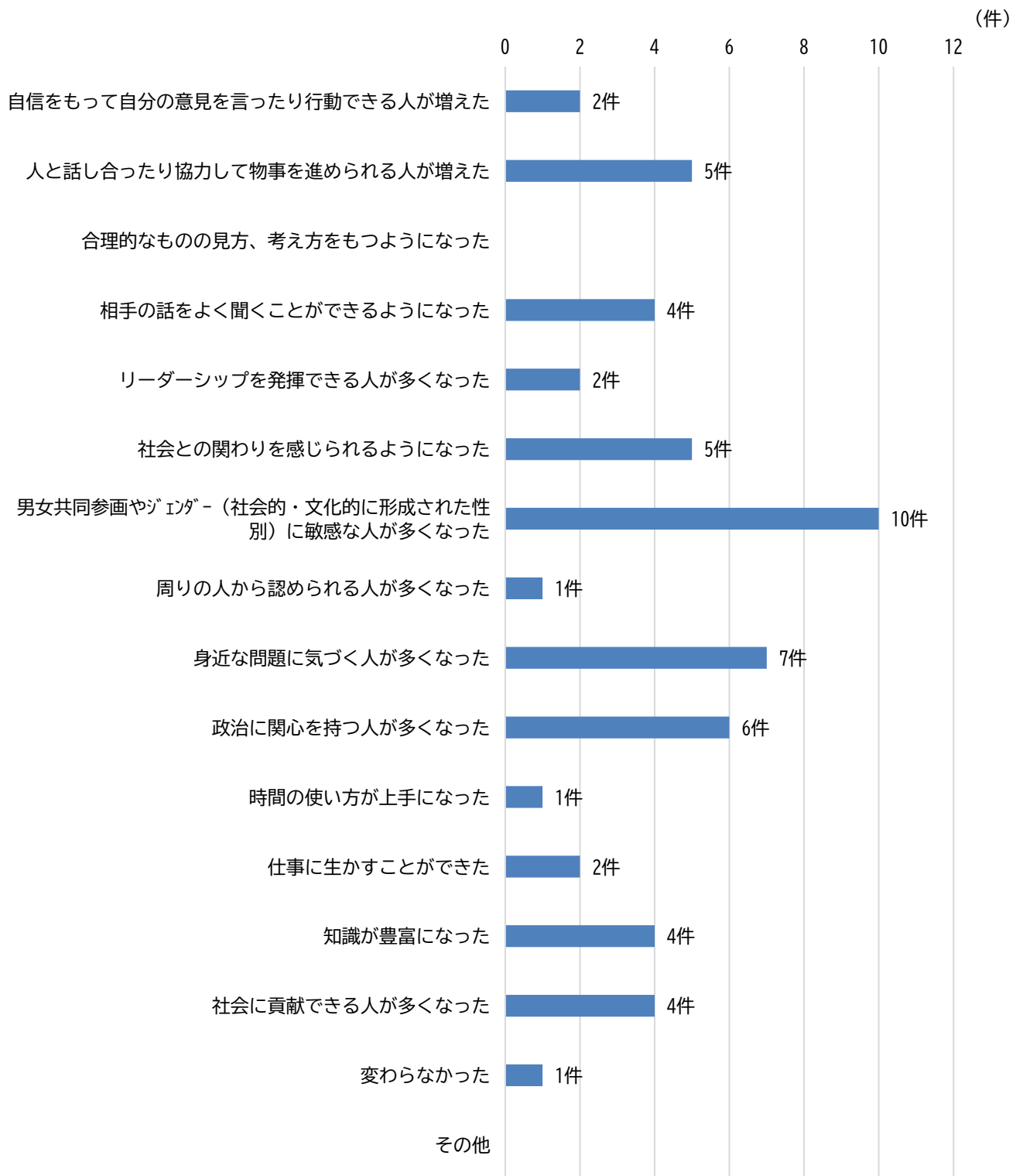


回答団体(N=57) 複数回答

※問 8-1、2 は、問8で「**8. 人権、男女共同参画、平和に関する活動（ユニセフ、啓発など）**」と答えた方にお聞きします。それ以外の方は、問9へ進んでください。

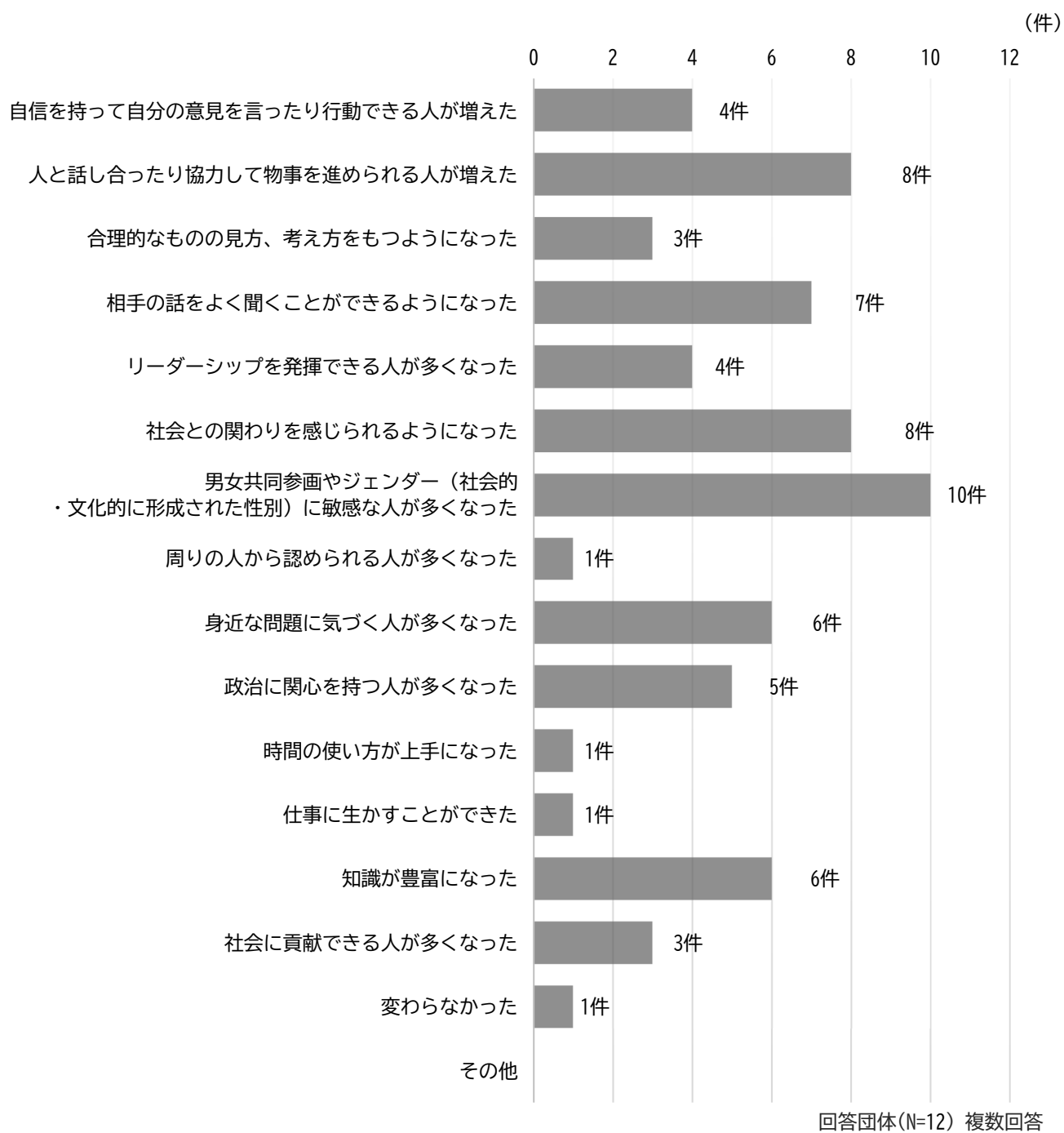
問 8-1 「**8. 人権、男女共同参画、平和に関する活動（ユニセフ、啓発など）**」の活動をした結果、参加者や地域はどう変わりましたか。(○は5つまで)

- ・ 最も回答が多いのは、「男女共同参画やジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）に敏感な人が多くなった」が 10 件であった。次いで、「身近な問題に気づく人が多くなった」、「政治に関心を持つ人が多くなった」となっていた。
- ・ R1 高松市調査でも、「男女共同参画やジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）に敏感な人が多くなった」の回答者が最も多かった。



回答団体(N=13) 複数回答

■R1 高松市調査

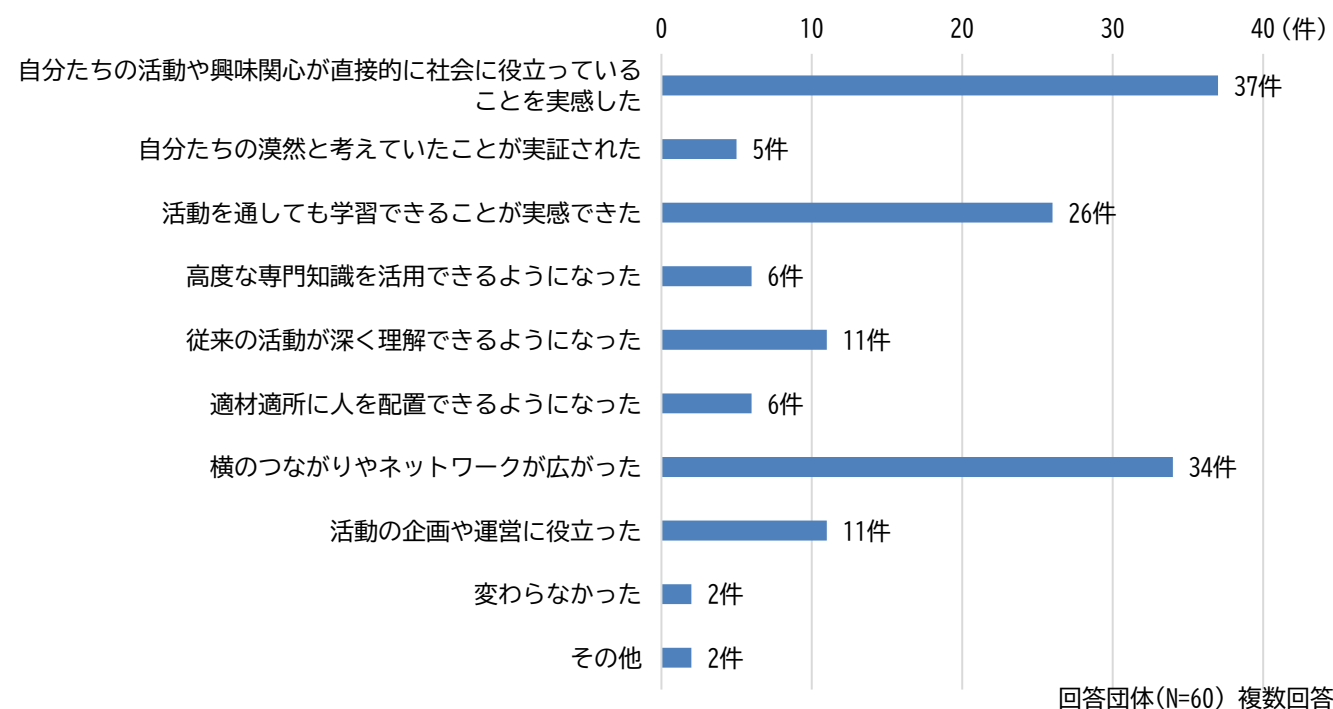


問 8-2 参加者や地域に特に影響を与えたと思われる活動内容は、どのような活動でしたか。下欄に具体的に記入してください。

	(件)
フォーラムや講演会の参加	1
市民フェスティバル講演会朗読会等に参加・平和の取り組み（千羽鶴作成、平和集会に持参 毎月●頭チラシ配付）・各種共同 護憲平和活動など	1
フラワーデモはまだ日が浅いのですが、講演会をしたことで、社会全体の問題として一石を投じたと思います。以前やっていた「かがわキャリアサポート」のキャリア教育の出前講座では、子どもたちのキラキラと輝く目を見て手ごたえとやりがいを感じておりました。	1
講演会、機関誌の購読	1
地域の子どもの登下校や防災学習と一緒にする。高齢者の居場所づくり、自治会館等でサロンを実施	1
戦争に関する資料の朗読、紹介	1
議員陳情活動、市民集会や講演会	1
県内の隣保館で LGBTQ をテーマにした茶話会で、行政職員や教職員などと質疑応答のような形で意見交換をした。	1

問 9 問 8 の活動をした結果、記入者自身はどう変わりましたか。（○は 3 つまで）

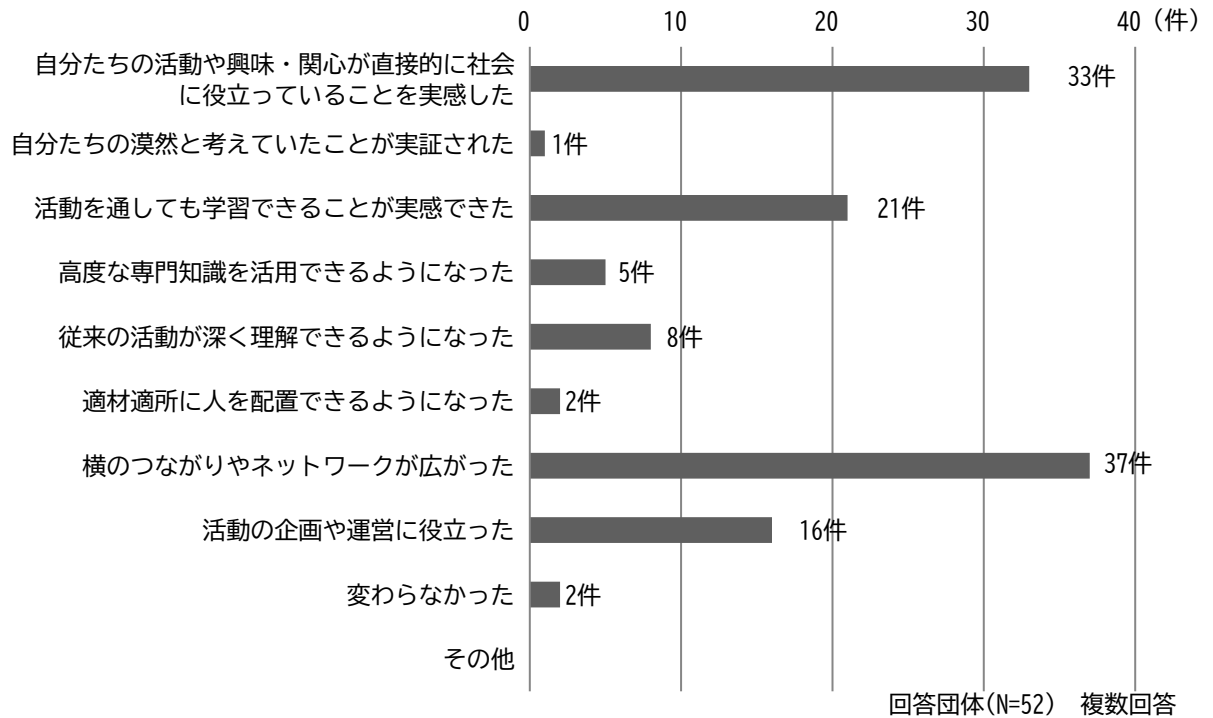
- ・ 最も回答が多いのは、「自分たちの活動や興味関心が直接的に社会に役立っていることを実感した」が 37 件であった。次いで、「横のつながりやネットワークが広がった」（34 件）、「活動を通して学習できることが実感できた」（26 件）となっていた。
- ・ R1 高松市調査では、「横のつながりやネットワークが広がった」の回答者が最も多かったが、上位 3 選択肢は今回と同じであった。



■その他の回答

	(件)
現在は 40 年近い活動で年齢は重ねて高齢者であるが、明るく楽しく笑いのある人間関係が出来ている	1
中四国の山を中心に登り、友情を育み人間的な成長をする	1

■R1 高松市調査

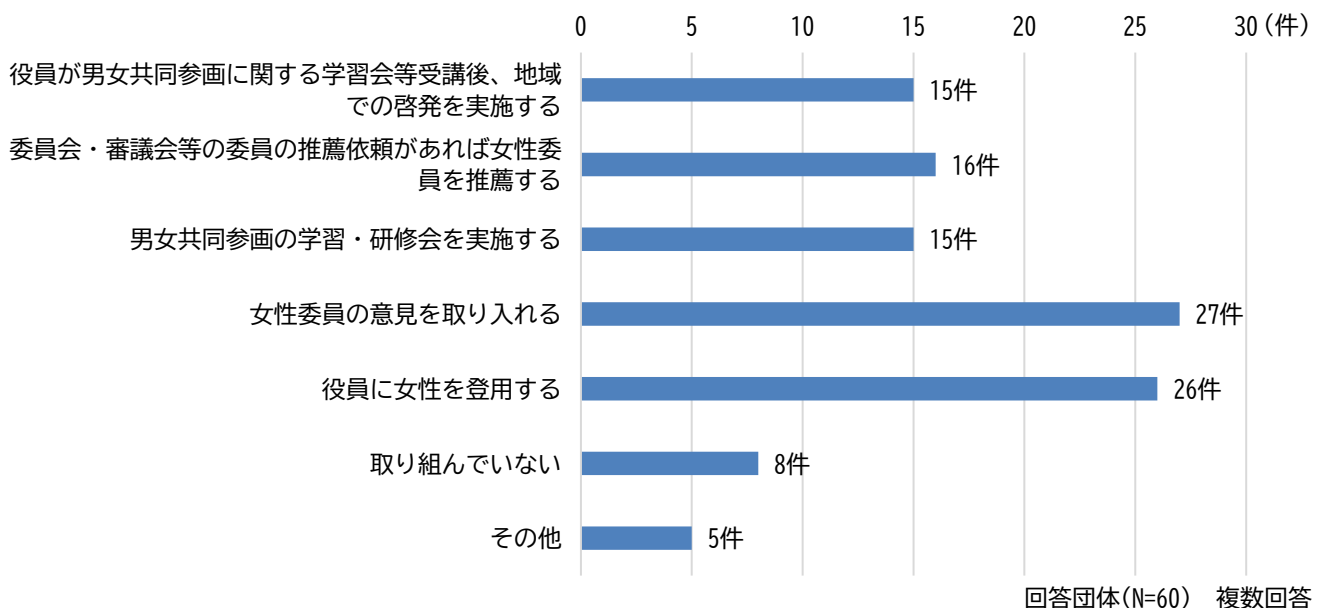


4 男女共同参画について

問 10 貴団体は男女共同参画社会づくりにどのように取り組んでいますか。

(当てはまる番号すべてに○)

- ・ 最も回答が多いのは、「女性委員の意見を取り入れる」が 27 件であった。次いで「役員に女性を登用する」26 件であった。
- ・ R1 高松市調査と比較すると、今回の調査団体では「女性委員の意見を取り入れる」に取り組んでいる団体が増えている。一方で、「取り組んでいない」と回答した団体は、今回の調査でも一定数いた。今後も継続して男女共同参画社会づくりの取組を推進していく必要がある。

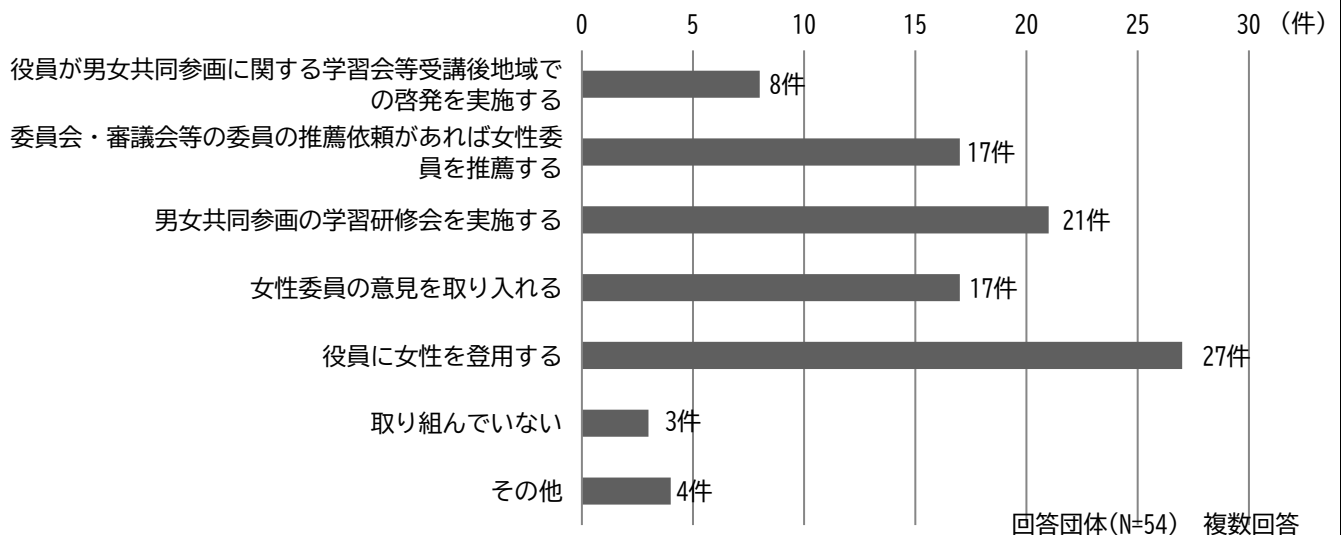


■その他の回答

(件)

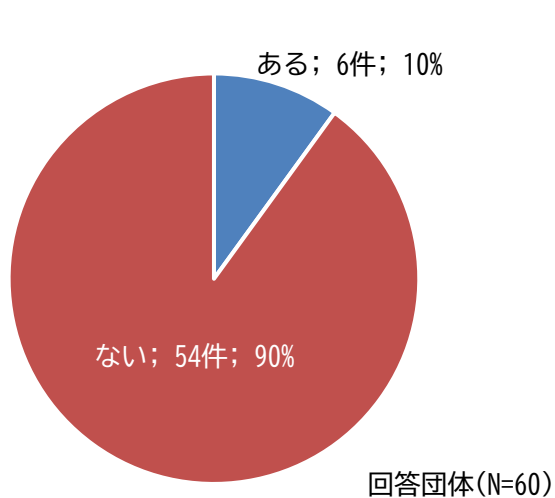
今、自分が行っているボランティアに専念して行くだけです。	1
女性だけの問題ではないので男性会員を増やしたいと思います。	1
今は活動中止中	1
男女共同参画を推進している女性団体に入会し、活動している。	1
高松市男女共同参画センターの参画フェスの実行委員をしている。	1

■R1 高松市調査

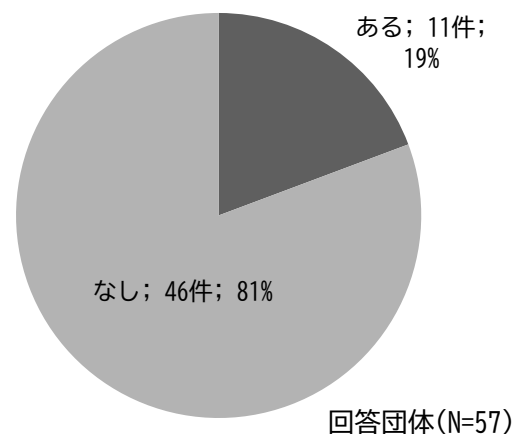


問 11 貴団体では、男女共同参画を推進する担当部署を設置又は専任の担当者を配置していますか。
(当てはまる番号 1 つに○)

- ・ 「ない」と回答した団体等が多く 9 割を占めている。
- ・ R1 高松市調査でも同様の傾向であった。



■R1 高松市調査

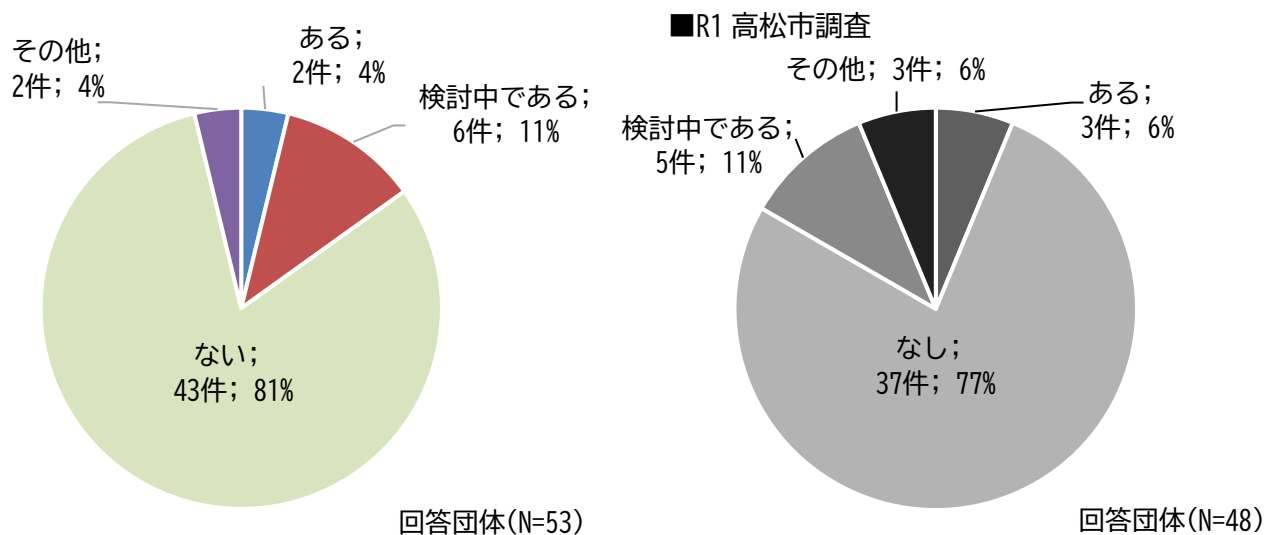


※問 11-1 は、問 11 で「2. ない」と答えた団体に質問します。それ以外の方は、問 12 へ進んでください。

問 11-1 今後、担当部署の設置又は専任の担当者を配置する予定はありますか。

(当てはまる番号 1 つに○)

- ・ 「ない」と回答した団体等が多く 81%であった。
- ・ R1 高松市調査では「なし」が 77%であり、同様の傾向であった。

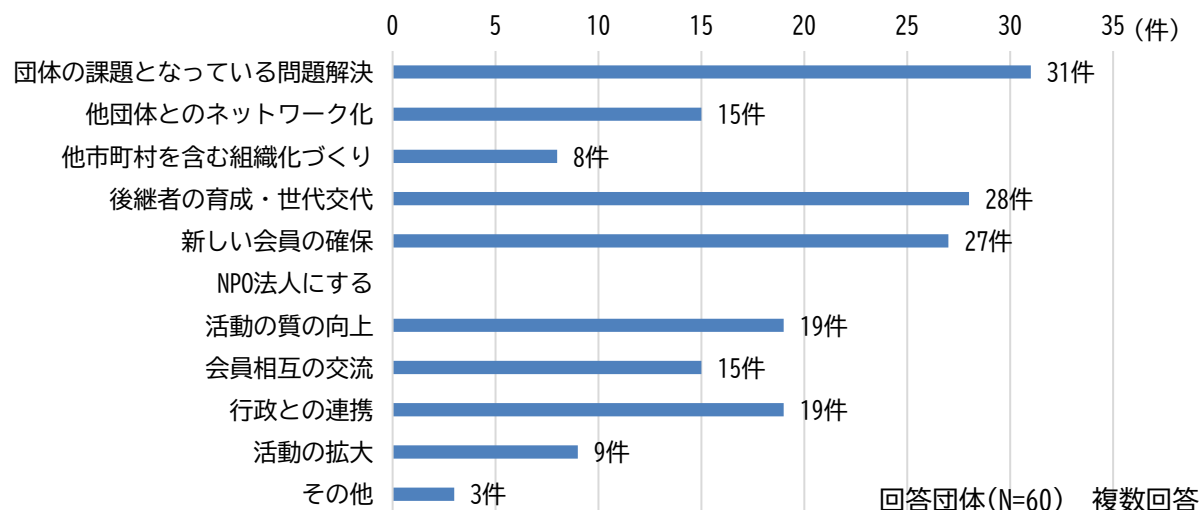


■その他の回答

組織そのものが男女共同参画を目的としている	1
現在、行政から委嘱を受けて委員をさせて頂いているので、その役割で活動している状況です	1

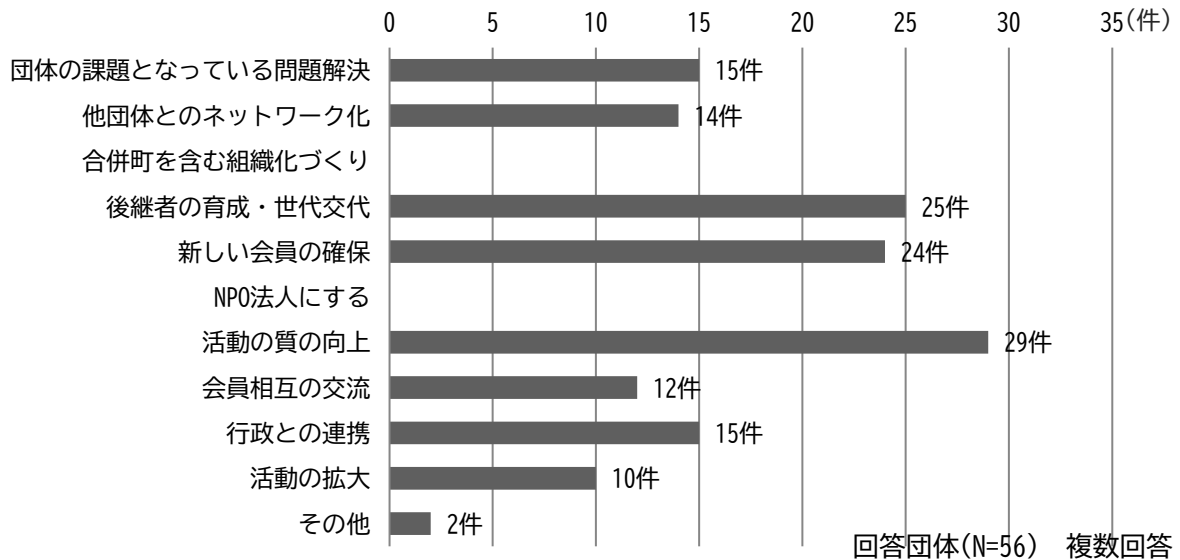
問 12 貴団体のこれからの活動の重点目標は何ですか。主なものを選んでください。(○は3つまで)

- ・ 最も回答が多いのは、「団体の課題となっている問題解決」が 31 件であった。次いで、「後継者の育成・世代交代」(28 件)、「新しい会員の確保」(27 件)となっていた。
- ・ R1 高松市調査で最も回答が多いのは、「活動の質の向上」で 29 件であった。次いで、「後継者の育成・世代交代」、「新しい会員の確保」の回答数が多く、団体を維持していく上で重要な課題かどうかえる。



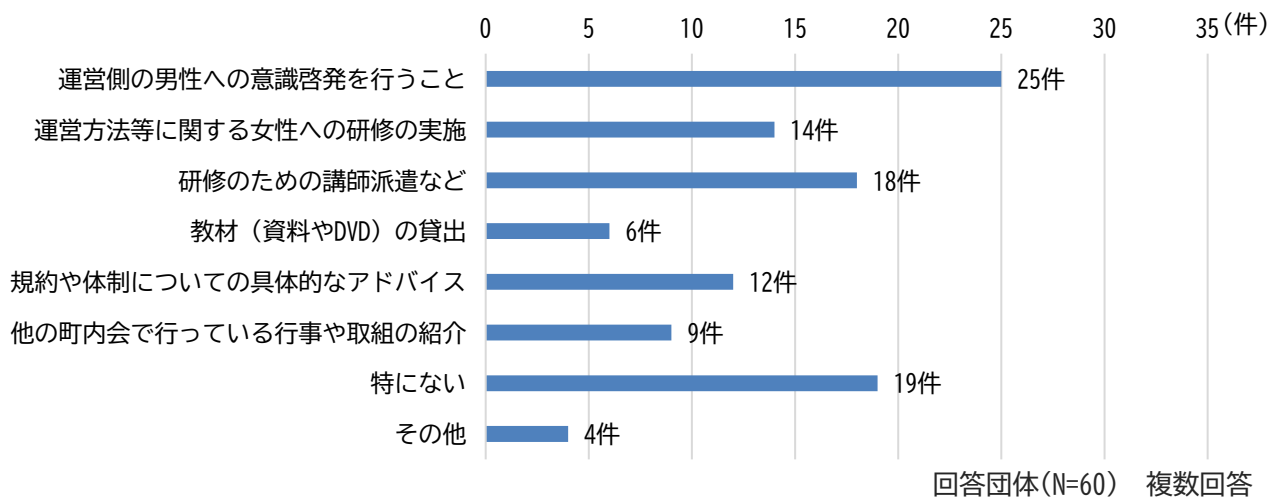
■その他の回答 (件)	
被害者のサポート	1
お声をかけていただいた時に協力参加をしている	1

■R1 高松市調査



問 13 貴団体において男女共同参画を推進するため、高松市に取り組んでほしいことはありますか。
(当てはまる番号すべてに○)

- 最も回答が多いのは、「運営側の男性への意識啓発を行うこと」が 25 件であった。次いで、「特にな
い」、「研修のための講師派遣など」となっていた。



■その他の回答 (件)	
さまざまな場所、場への広報活動	1
もっと DV 被害者や性暴力被害者のサポートに力を入れてもらいたい。その人の人生を一生台無しにしてしまうような重い犯罪です	1
推進に必要な予算付け	1
各団体も良さがあるので、その個性を活かした活動をしていただきたいと思っているので、偏りなく様々な団体と活動をしていただきたいです	1

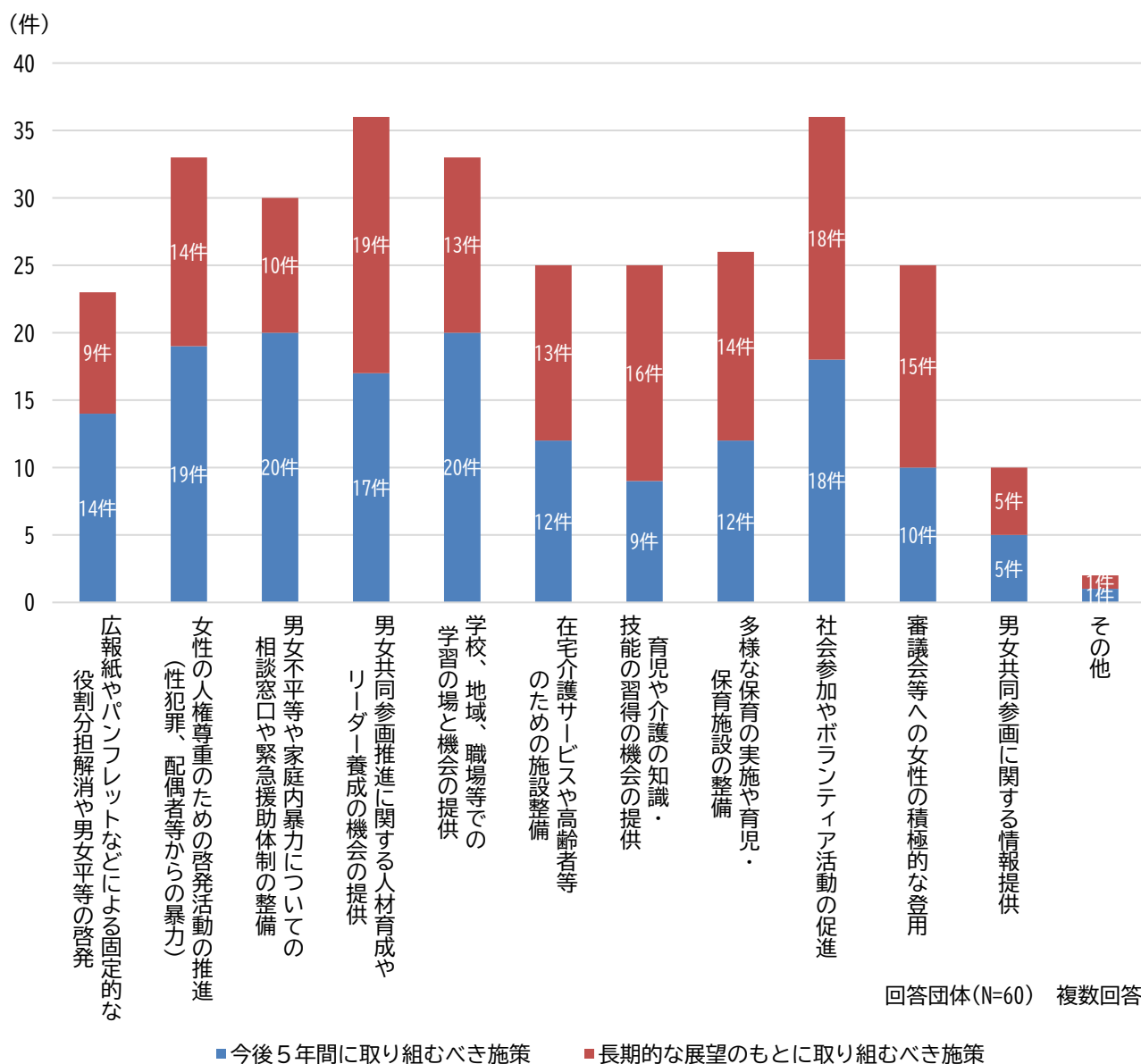
5 その他

問 14 今後、だれもがいきいきと自分らしく生きることのできる社会づくりを進めるため、高松市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

「(1)今後5年間に取り組むべき施策」及び「(2)長期的な展望のもとに取り組むべき施策」の2つの観点から、それぞれ数字を選んでください。(それぞれ3つまで)

また、具体的な取組方策について、次の枠の中に御意見があればお書きください。

- ・ 「(1)今後5年間に取り組むべき施策」で最も回答が多いのは、「男女不平等や家庭内暴力についての相談窓口や緊急援助体制の整備」、「学校、地域、職場等での学習の場と機会の提供」がいずれも20件であった。R1 高松市調査でも、「男女不平等や家庭内暴力についての相談窓口や緊急援助体制の整備」は最も回答が多く21件である。高松市の施策として、重点的に取り組む必要がある。
- ・ 「(2)長期的な展望のもとに取り組むべき施策」で最も回答が多いのは、「男女共同参画推進に関する人材育成やリーダー養成の機会の提供」が19件であった。次いで、「社会参加やボランティア活動の促進」が18件となっていた。



■その他の回答		(件)
60 代以上の世代へ男女平等の情報のアップデート		1
具体的な取組方策について、御意見があればお書きください。 (1) 今後5年間に特に取り組むべき施策		
⑥の在宅介護サービス、高齢者等が心配なく生活出来ること。 高齢男性の男女共同参画の学習、「女のくせに。」という言葉をよく聞く。 広報と共に、気楽に相談出来る部署の設置。性犯罪やDVにとどまらず、生活、子どもの教育、老後など、巾広くとらえて欲しい。 異業種の間管理職が集って「働き方改革」について話し合い、その中で、女性活用を考えると、新たな発想が、生まれたりするのではなんでしょうか。 まずは多くの人に問題を知り、考えてもらうことが必要 ミライエで活動しているのは高齢者が多いので次世代の人を育ててつなげて続くことを願っています。 以下は私の現状ですが仲間の協力で楽しい毎日です 突然の脳梗塞で自分がびっくりです。現在リハビリ中ですが週に4回男女を問わず交流をしています。人との交流を大切に話しを通して笑顔になるように楽しんでいきます。言葉の使い方の大切さを感じています。私の個人的な意見です。 行政と民間が取り組むべき問題について検討していくこと。 県の男女共同参画センターが出来たので、活用の仕方等を考えながら積極的利用したい。 被害者、加害者プログラムを実施すべき術を育むべし。(センター内でとか、専門家の育成を望む) DV 被害女性・困窮女性の支援強化 保育園不足で待機児童が減らない現状があるため、保育士不足や保育施設への支援強化をお願いしたい。 男性相談窓口などを設けてはどうか？(DV 被害・DV 加害者含め) 女性の自立支援 性役割やアンコンシャスバイヤスを無くすための広報やパンフレット作成配布など、市の窓口や学校などで普及させてほしい。 少子高齢化に伴う女性継承者のフォロー強化 男女共同参画やセクハラ・パワハラなどについて、事業者への学習の機会を増やして欲しい。 一般の市民に、このような世界があり、活動しているひとたちがいて、人の役に立っているという事を少しでもわかっていただきたいです。		
(2) 長期的な展望のもとに取り組むべき施策		
⑥の在宅介護サービス、高齢者等が心配なく生活出来ること。 小学校、中学校時代から男女共同参画の学習をしっかりやるべき。 広報は、とても重要なので、根気よく巾広く。幼児期、家庭でも、「性差」は別にして“人”としての教育を。 男女参画故の成功実例をお話して頂ければ、人間関係で悩まれている人々の参考になるのではないのでしょうか？ 高齢化社会等今後の流れに対応できるようにしていく 男尊女卑依存症社会から、ジェンダー平等で、男や女ではなく一人の人間として人権を尊重される平和な社会を願ってやみません。		

年を重ねると様々な方と出会いますがプラス思考で前向きになれる交流を心がけております。認知症になられてもお話をきいてあげることの大切さを学びながら。私の個人的な意見です。

みんなが繋がりをもち、連携して、だれもが住みやすい街作りをしていくこと

県の男女共同参画センターが出来たので、活用の仕方等を考えながら積極的利用したい。

子どもの心の声に気づくべきシステムづくりを望む。

これからを担う意欲ある若者が社会参加し活躍できる環境作りをお願いしたい。

県立のセンターが出来た際の連携の取り方、役割分担の仕方など検討してほしい/教育現場における男女共同参画の促進

家族計画の出会い

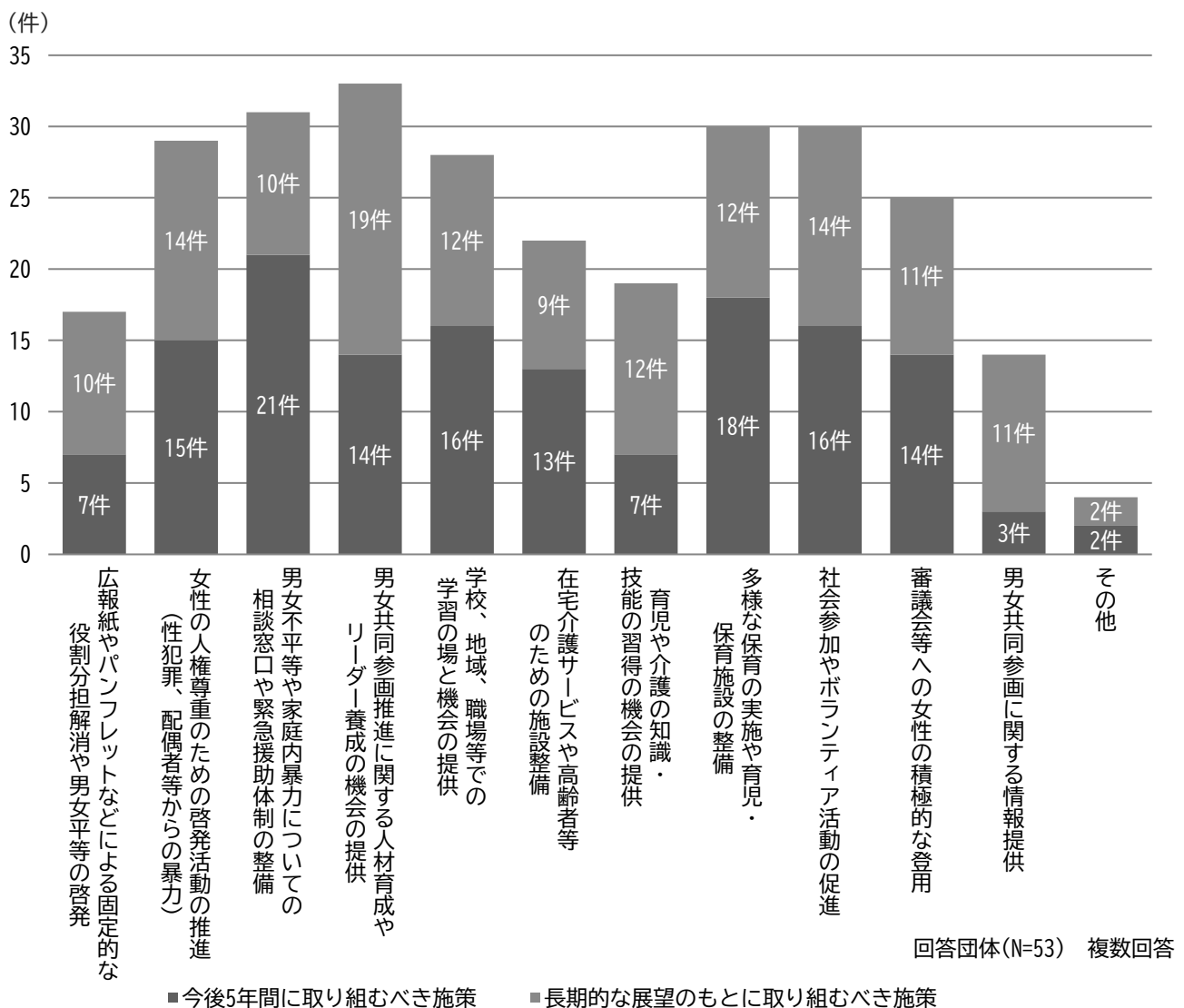
女性市長の誕生、市議会での女性議員の増加を期待します。審議会などにも女性がたくさん入って欲しい。

アンコンシャス・バイアスに関する理解促進と研修の推進

女性の政治参加を促すような取り組みも必要だ。

このような活動に関わる人たちを増やしていきたいです。

■R1 高松市調査



問 15 男女共同参画の社会づくりについて、御意見、御感想などがありましたら、御自由にお書きください。

共働きがあたり前になっている現在、男女共同参画で、性差による女性の負担が増えない様を守ってほしい。

何と言っても、意識改革です。まだまだ女性差別が根強いと考えています。同時に、男・女・・・にかかわらず、人間として・・・を基盤に考えています。

男女共に皆の意識を変えていくことが必要

早いうちからの性教育、哲学、ジェンダー教育が必要でしょう。もっと子ども達が、のびのびと自由に、たくさんの経験をして育つことが大切です。主体的に自立した大人になるために。周りの大人たちの成熟度と人間愛が試されていると思います。未来に希望を！”そこに愛はあるんか？”です

高齢者は男性が会話をせず座ってテレビを見て、女性は楽しく話せる方と同じことのくりかえしの会話。職員の方は大変だと思います。

男性の育児参加が増えていると街中を見回すと感じるので、すごく良い傾向だと思う。今後は、男性の育児がもっと広がっていくともっと良い社会になっていくと思う。

現状としては男女共同参画は少しずつ良くなっていると思う 長い期間をかけて、さらなる発展に期待している

男女共同参画社会を推進するためには、学校教育において、ジェンダー平等の意識改革を行う事も重要と思います。

自治会長の半分以上が女性となれば地域活動は大きく変わると思っています。

気軽に参加や意見交換できる場があるとよいと思います。

地域活動については、女性が担っている仕事も多いと感じている。一方で、最終決定を男性がしている場合も多く、そのあたりは難しい感じもします。男性女性以外のセクシュアリティの人も参加しやすくなるような研修や啓発、間口を広げる取り組みも必要かなと思いました。”

選択的夫婦別姓等の取り組み

女性市議が増えたのでそのネットワーク・情報発信

男女が共に参画し、共に意見言う時代ですが積極的に、社会参加、自治会活動に参加する方が少なくなったように感じます。もっともっと社会を支えるボランティアが増えるような組織づくりを望みます。

女性の非正規雇用が不安定すぎる、多すぎなので、市の職員に正規の女性を採用して、役職をつけて、まずは足元から男女共同参画を進めてほしい。

企業さんへの働きかけが最も重要で、その働きかけの手段の一つに、NPO や地域団体の力を借りる方法があるといいと思う。

地域や NPO 等のボランティア団体に向けて男女共同参画を進めても、社会への効果は薄い。いつまで経っても変わらない。

若い世代が高松市で働きたいと思うような社会づくりをしていって欲しいです。

それぞれの役割、立場を理解しあって、どんな人たちでも助け合い、支えあっていける社会になっていけると良いですね。その為には、市民の意識が少しでもそこに向くような事を行政の方々と協働していきたいと思っています。

近年、男女共同参画、男女平等を勘違いしているように感じる。男性が我慢したり遠慮してなにも言えなかったり。男性にも人権はある。なんでもかんでも女性を登用するのではなく、適材適所、本人の意思や性格を尊重することが大切なのではないかと思う